

## 【第3回ファミサポ講習会】

日 時 令和6年10月24日（木）10:00～11:30

場 所 砥部町中央公民館 3階視聴覚室

テーマ 「子どもの困り感に寄り添う支援」

講 師 特定非営利活動法人ぶちすてっぷ理事長 安原 優子氏

### 内 容

講話（プレゼンテーション） 質疑応答

- 子どもに寄り添うとき、いつも意識しておきたいこと
- 子どもはどんなことに困っているか
  - ① 感覚が敏感または鈍感 ②分からなくて不安 ③言いたいことが言えない
- 感覚の特異性 脳は3段階で発達
  - ① 触覚 原始系と識別系 ②固有受容覚 ③前庭覚
- 「分からない」が不安につながる
  - 理解するまで待つ、伝え方の工夫、肯定的に知らせる、イメージしやすい言葉
- 子どもが安心できる方法、ルールの見える化

### 参加者の感想など

- 本当に勉強になりました。子どもとの関わりに悩んでいたりするので、的確なアドバイスをいただきありがとうございました。自分にご褒美！で頑張ります。
- 子どものタイミングを待つ、マイナスではなくプラスで物事を考えるようにしたいと思った。
- 子どもにはイメージしやすい言葉で話すことが大事だが、イメージする→絵に描ける、の体験を参加者が行った。「みかん」や「花」は描けるが、「ちゃんと」を絵にするには難しく、子どもにとって分かりにくい言葉を使っていると気付くことができた。
- 親子との触れ合いの場で、今日学んだことを十分発揮できるようにしていきたいです。
- 子どもを褒める、できていることや良いところを見つけて日常でしていきます。
- 今後も講習会に参加させてもらいます。

